

資料抜粋 (7ページ／15ページ)

現代の管理職に求められるもの ～以前と違う新しい時代のリーダーを創る

1. 当社が考える時代認識

1. 全世界のフラット化

新興国の成長(技術力、資金力、マネジメント力、労働力で日本の競争優位が大幅に消失)
⇒産業面で、日本は追いつけない国ではなくなってきた

2. グローバル化

国内だけでなく海外も含めて実質一つの市場へ
⇒世界の顧客、世界のライバルとの大競争にどう相對するかが課題に

3. 個人が際立つ

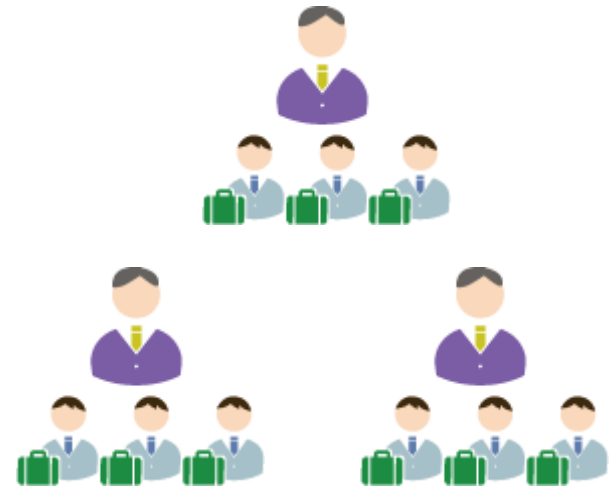
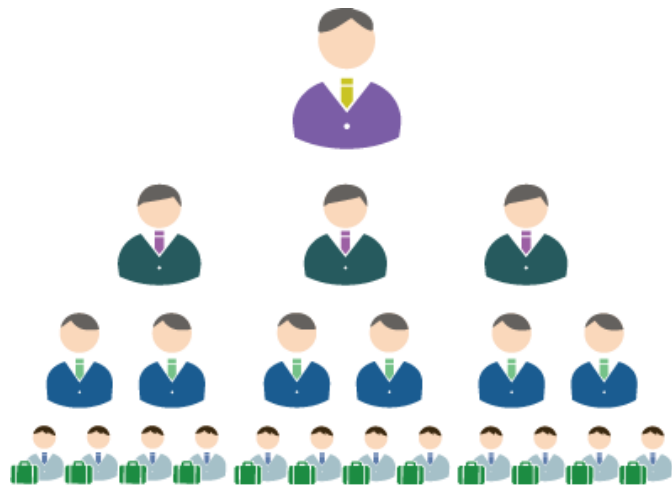
一人のアイデアにより、一夜にして巨大企業が出現したり、一人の告発により、巨大企業が崩壊する時代
⇒組織は「一個人」にどう向き合い、どう對峙するかが課題に

⇒過去とは違う現代(2015年～)へ

2. 目指す管理職像(イメージ)

時代が求める管理者

= 自ら経営判断ができ、素早く動ける人



組織の限定した機能を担う管理者ではなく、環境に
 適応し、経営判断ができる管理者をできる限り
 多数育成する。



3. 管理職に求める能力

1. 時代認識が適切である

⇒時代に合った意識・資質・判断軸を持っていること

2. リスクが発見でき、対処できる

⇒社会が求めるリスク感覚を持ち、多様なリスクに対応できること

3. 業績を上げる方法を知っている

⇒求められる業績とその実現方法を知っていること

4. 新しいことができる

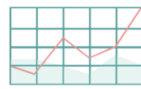
⇒新規事業、新施策などを見出し、実現できること

5. 人や組織が分かる

⇒機能する組織を作り、指導教育し、生産性高く仕事ができること

6. 業務遂行ができる

⇒当然ながらPDCAが回せ、滞りなく業務遂行ができること



4. 管理職に求める能力(イメージ)

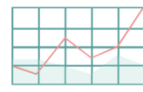
リーダーとしての大きな成果

スキル

(リスク、業績拡大、新しいことができる、
組織マネジメント、業務遂行)

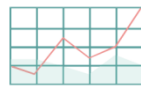
マインド

(管理職としての意識と資質、正しい
時代認識、収益と社会性の判断軸)



5. 管理職に求める能力(整理)

	現場リーダー・係長	中級管理職・課長	上級管理職・部長
	現場リーダー	実務統率者	経営代行者
判断軸	収益と社会的責任 (i . 説明責任 ii . 透明性 iii . 倫理的行動 iv . 利害関係者の利害の尊重 v . 法の支配の尊重 vi . 国際行動規範の尊重 vii . 人権の尊重)		
リスク管理	◎	◎	◎
業績拡大	○	◎	◎
新しいこと・変革	△	○	◎
人を扱う・指導・教育	◎	◎	○
業務遂行・達成	◎	◎	○
心のメンター (歴史上の人)	リーダーシップの あり方は分かりやすい	孫子 (中国・春秋時代の武将、兵法家) 将軍を課長と読み替えると 分かりやすい	マキャヴェリ (イタリア・ルネサンス期の政治思想家) 君主を部長と読み替えると 分かりやすい



6. インソースの管理職研修の特徴

1. 時代にマッチした新しい内容

2015年(現代)の視点から、研修内容を構成。マインド面の強化には、示唆に富む先人の行動原理を豊富に紹介し、納得感のある内容とした

2. 外部視点を提供

社会性がこれほど強調された時代は初めてであり、自社内ではなかなか持ちえない世界観や社会観など多面的な視点を提供

3. 真剣勝負な内容

研修で実施する演習は「自社の課題」に照らして考える内容になっており、研修向けの「お勉強」で終わらない様に工夫

4. 現場で再現可能を最重視

インソースが研修を多数実施する中で開発した、こなれていながら簡便で有益なフレームワーク、ツールを提供。現場で即実践し、成果を上げられる様に工夫

本データは実際の資料を抜粋したものです。
続きをご覧になりたい方は、下記問合せフォームより
「インソースグループフォーラム2015資料希望」とご記入
のうえご連絡ください。なお、個人の方・同業の方のお申込み
はご遠慮くださいますようお願いいたします。

【問合せフォームURL】

<https://www.insource.co.jp/contact/inquiry.php?ctg=s99>

【続きの内容】(8ページございます)

- ・インソースの管理職研修 内容詳細
- ・上級(部長級)管理職研修、中級(課長級)管理職研修
- ・階層別要件定義一覧

